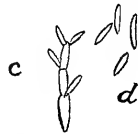


a 子囊 $100 \times 50 \mu$
壁ノ厚サ $6-7 \mu$
胞子 $40 \times 20 \mu$
壁ノ厚サ 5μ



b ビクニザア $\times 5$
c 擔子柄
d ビクノ胞子 $5.5 \times 1 \mu$

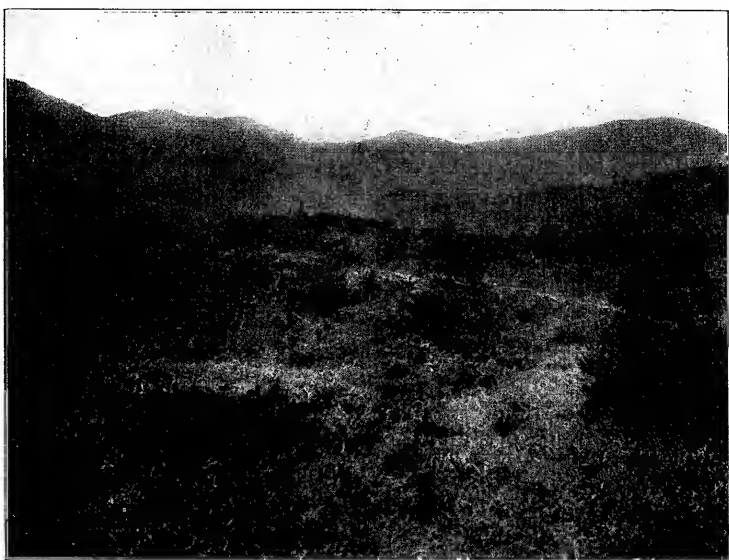
タ(植物學雜誌第四十一卷第四八四號第三四七頁)、然シ記載ハシテ居ナイ、ンコデ此地衣ノ詳シイ記載ハ他日別ニスルコト、シ取り敢ヘズ其全形ト要點トノ圖解ヲ茲ニ掲ゲル、此地衣ハ全體ノ構造ガ彼ノ普通ニアルせんしごけ *Parmelia*

pertusa SCHAEFER. ニ酷似シ葉狀體ハ白色又ハ灰綠色ヲ呈シ中空デ表面處々ニ圓筒形又ハ圓錐形ノ突起ヲ出シ其頂キニ圓形ノ穿孔ガアル、子器ハ盃形ヲナシ長柄ヲ有シ縁ハ内ニ卷キ込マレ波狀ヲ呈シテ居ル、子囊ハ厚膜性デ内ニ二個又ハ一個ノ巨大、厚壁性ノ胞子ヲ容納シテ居ル、「ビクニザヤ」ハ葉狀體表面ノ突起ノ先端附近ニ群集シ孔口ハ黑點トナリ現ハレ「ビクノ」胞子ハ桿狀ヲナス、本種ハ *Parmelia* 屬 *Menegazzia* 亞屬ニ屬シ多クハ樹枝ノ先端拇指大以下ノ枝梢ヲ匝リテ着生ス

【訂正】 舊軒獨語、第四(本誌第三卷第五號百〇一頁、最終ヨリ第二行目)うめのきごけノ記載中「線狀體ハ單一ニシテ分枝セズ」ヲ「線狀體ハ分枝ス」ト改ム、うめのきごけノ線狀體ハ *Hymenial gelatin* ニ密着シ顯微鏡ニテ窺フモ不明ニシテ先ニ小生ノ見落シタルハソレガ爲ナリ然ルニ元來 *Parmelia* 屬ノ線狀體 *Paraphyses* ハ分岐セルガ常則故再ビ此點ヲ精檢シ「メチレンブルー」ニテ染色シ明瞭ニ分岐セルコトヲ確メタリ茲ニ前ノ粗漏ヲ謝ス (舊軒)

○ひうがみづきの自生地始メテ判明ス

理學士 服部 靜夫

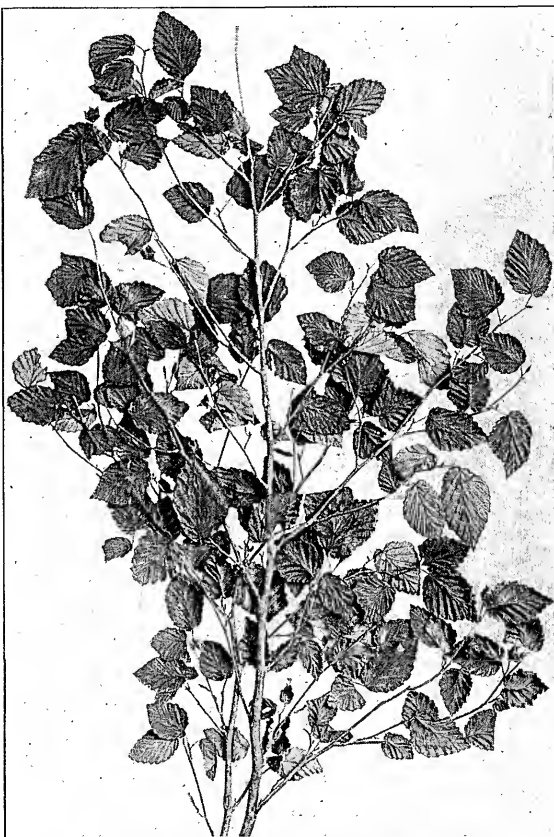


丹波丹後界ノ大江山

大正十五年八月初旬とさみづきノ樹皮ヲ集メニ高知縣ニ赴イタ際高知市外ノ吉永虎馬氏カラ氏ガソノ數日前丹後ノ大江山デ採ラレタトイフ數枚ノ葉ヲ示サレタ、氏ハソノ葉ニ寄生シテキル銹菌ガ入用デアッタノデ葉バカリ採ラレタ爲メニ他ノ部分ハ見ル由モナカッタガ一見スルニ *Corylopsis* 屬ノ植物ノ葉ラシク氏ノ言ハレタ通り正シクひうがみづきラシク思ハレタ

自分ハコノ旅行ノ歸途大江山ヘ行ッテ見ルツモリデアッタノデ吉永氏ト此行ノ偶然ナル暗合ニ驚イタガ八月二十日峰山滯在中ノ一日ヲ割イテ大江山ニ採集ヲ試ミタ、大江山ハ高サ約八百三十「メートル」ノ千丈岳ノ通稱デ普通丹波ノ大江山ト謂ハレルガソノ三角點ノアル處ハ實ハ丹後ノ國ノ領分ニ入ッテ居ル、尙ホ此ノ千丈岳ノ西南約二千「メートル」ノ距離ニ高サ約七百三十「メートル」餘ノ赤ケ石岳ト東北約二千五百「メートル」ノ地點ニ七百六十三「メートル」ノ三角點ヲ有ツ一峰ガアツテコノ三座ヲ連ネル山稜ヲ普通大江山連山ト稱ヘテキル、ひうがみづきノアルノハンソノ中千丈岳ト無名(參謀本部陸地測量部地圖五萬分一圖幅「大江山」)ノ一峰トノ鞍部ノア

ひうがみづきノ自生地始メテ判明ス

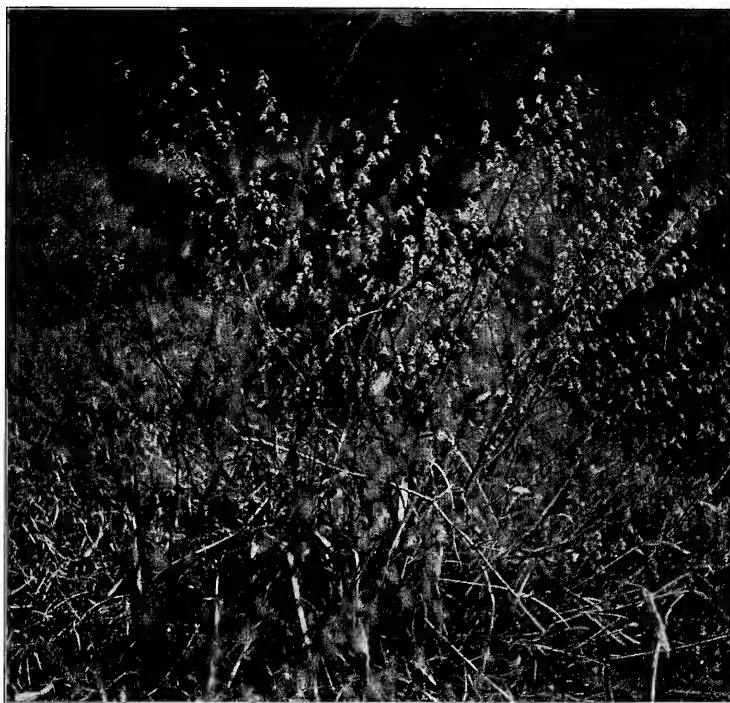


大正十五年八月二十日大江山櫻内ニテ採集セル野生ノ
ひうがみづき (*Corylopsis pauciflora* SIEB. ET
Zucc.) 枝葉ノ標品ヲ寫ス (縮小)

ウド果實ガナツテ居タガ一穗ニ一二個ヅツ着テ居ッドウ見テモひうがみづきデアッタ、ソシテソノ廣イ場處ニ
散生シテキル態カラ見テモ自生シテ居ルモノニ違ヒ無イヤウニ思ハレタ
歸京後牧野先生ノ檢定ヲ經タ結果ひうがみづきデアアルコトニ極マツタ尙ホ驚イタコトニハコノ植物ハ今マデソ
ノ自生地ガ知ラレテキナカタコトデ名前カラタダ漠然ト日向國ニデモ産スルモノト思ツテ居タヤウデ私ニハ

タリカラ、ソコカラ與謝郡
與謝村^{アサナ}字櫻内ニ降ル路ノ兩
側ニ展開シタ可ナリ廣イ草
原デアアル、コノ草原ニハ樹
木トシテハ低イばつこやな
ぎ、のいばら、ねず、くろ
もじ、さんさめざくら、
まんさく等ガ生エテ居ルバ
カリソノ大部分ハ草本デ蔽
ハレテ居リ村人ガ此處デ草
ヲ刈ル時ニ一緒ニ此等ノ矮
小灌木ヲ刈リ取ルト見エテ
ひうがみづきモ満足ニ育テ
居ルモノハ稀レデ大抵ハ鎌
デ殺ガレタ痕ガアル、チャ

ひうがみづきノ自生地始メテ判明ス



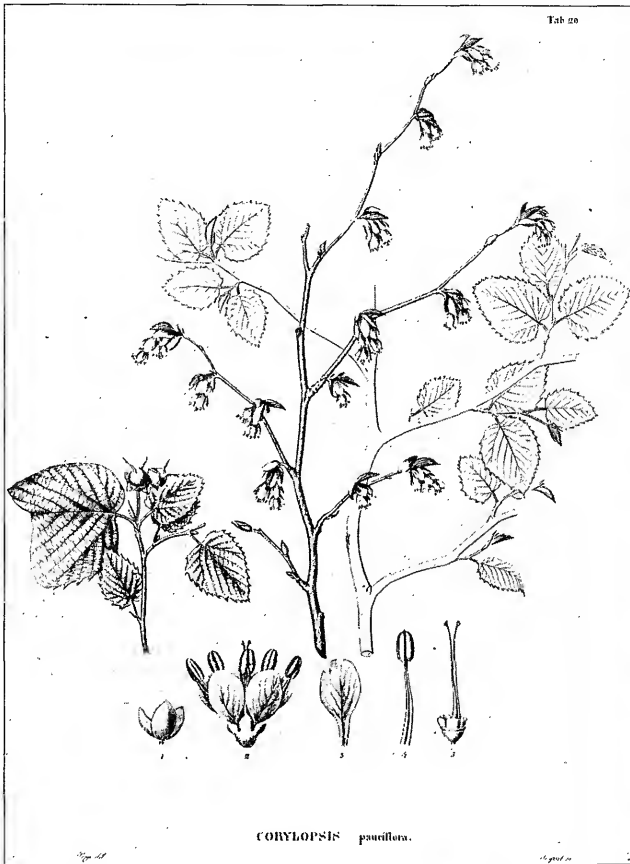
丹波丹後界大江山ノ丹後方面ノ櫻内ニ野生セルひうがみづき
(*Corylopsis pauciflora* SIEB. ET ZUCC.) 開花ノ狀
(昭和二年四月十三日服部靜夫撮影)(縮小)

實ニ意外デアッタ

吉永氏ハ更ニ植物學雜誌明治二十八年十月號ニ牧野先生ガ須川長之助氏ノ採品ニヨッテひうがみづきガ伊勢菰野山丹後宮津港杉森ニ産スルトイフ記事ヲ書レテキル事ヲ注意セラレタノデソノコトヲ先生ニ御話シタトコロ菰野山ニハ後ニ先生モ植物採集ニ赴カレタガ同山ニハ自生品ハナクテ須川氏ノ採品ハ栽培品ラシイコト及ビ宮津産ノモノハ小サイ斷片デアアルノデコレモ果シテ自生デアアルカドウカ疑ハシイ、然シ宮津ト大江山トハ直グ目ト鼻トノ間位シカ離レテ居ナイカラ或ハ自生カモ知レナイトノ事デアッタ

今春四月十二日マタ峰山ニ用事ガアッタノデソノ序ニ大江山ヘ行ッテ花ヲ着ケタひうがみづきヲ採集シ更ニ宮津ノ杉森ヲ探ルベク一日ヲ割イタ、トコロガ恠シムベシ宮津ニハ杉森ナル名ヲ有ツ處ガナ

ひうがみづきノ自生地始メテ判明ス



SIEBOLD ET ZUCCARINI, Flora Japonica 所載ノひうがみづき
(*Corylopsis pauciflora* SIEB. ET ZUCC.) ノ圖(縮寫)

カツタコトト、土地ノ人々ノ知ラナイコトカラ、ドウモ現今ソコニ自生シテキルトハ思ハレナイ、又杉森ガ宮津デナクテ此ノ地方ノ何處カノ地名デアルトスレバ、ソレハ又別問題デ更ニ將來ノ調査ヲ俟タネバナラヌガ宮

イ、唯ダ似ヨリノ杉ノ末ト云フ字ガアル、コノ杉ノ末ニハ式内杉ノ末神社ガアツテ海ニ面シタ丘ノ上ニア、ソコデ杉森ガ杉ノ末デハナイカト思ツテ神社ヲ中心トシテ附近ノ小サイ丘ヲ一日歩イテ捜シ廻ッタケレド遂ニ見付ケルコトガデキナカタ、土地ノ人ニひうがみづきノ花ヲ見セテ尋ネテモンナ花ハ知ラヌトイフ、依テ若シ須川氏ノ杉峯ガ杉ノ末デアッタトシ、ソコニ自生ノモノガアッタトシテモ不完全ナ調査デハアラウガ一日歩イテ見當ラ無

津港杉森ガ杉ノ末ノ誤デアッタトシテモ昔其處ニ自生ノひうがみづきガアッタコトヲ斷定スル譯ニハユカナイシ、現在モ亦無イノガ本當ラシイ、ソレデ今ノトコロ吉永氏ガ始メテ見付ケラレタ大江山ノ北麓ガコノ植物ノ自生地デアアルコトニナル、私ハ今マデ自生地ノ判ラナカッタ栽培植物ガ一ツ減ッタノヲ喜ブモノデアアル此ノひうがみづきヲ一番最初ニ植物學的ニ研究シ之レニ新學名ヲ命ジ圖說シタノハツツカリニ氏デソレガシールト、ツツカリニ合著ノ Flora Japonica ニ出テ居ルカラ參考ノ爲メ此ニ其圖ヲ縮寫シテ掲ゲタ(前頁)、ソレガ今カラ九十三年程前ノ事デアアル

(附記)私ノ知人デ峰山ニキル人ノ談デハ、ソノ人ノ生地ナル與謝半島ノ岩瀧町男山ノ山ノ中ニモソノヤウナ木ガアツテヨク薪トシテ刈ッテ來タモノダト云フコトダカラ或ハ與謝半島ノ方面ヤ又西ノ方但馬ノ方面ニモ亦無イトモ限ギラナイヤウデアアル

【牧野曰フ】 ひうがみづきノ和名ニ就テハ本誌第三卷第十一號(278)頁ニ愚見ヲ陳ベテ置イタ

○珍ラシク海南ノ土佐デ見ルたうせんだんトしろばなせんだん

土佐高知 吉 永 虎 馬

本邦ニ産スルせんだん屬 (Melia) ニ屬スル植物ニシテ現時知ラレタルモノ四種アリ、即せんだん (Melia Azedarach L. var. japonica MAKINO.) じぐばなせんだん (M. Azedarach L. var. japonica MAKINO f. albiflora MAKINO.) たうせんだん (M. Azedarach L. var. japonica MAKINO subvar. Toosendan MAKINO.) ぐちせんだん (M. Azedarach L. var. japonica MAKINO subvar. semperflorens MAKINO.) 是レナリ、而シテせんだんハ最モ普通ノ品種ニシテ本州中部以南ニ於テハ諸處ニ之ヲ見ルヲ得ベキモ他ノ三種ハ何レモ稀品ニ屬セリ、就中たうせんだんハ初メテ SIEBOLD ET ZUCCARINI'S Florae japonicae Familiae Naturales, I. p. 159. (1843) ニ於テ